

平成22年4月23日18時
熊本県健康危機管理課

タミフル耐性新型インフルエンザウイルスの確認について

抗インフルエンザウイルス薬への耐性等を調査する目的で実施しているウイルスサーベイランスにおいて、タミフル耐性ウイルスが確認されましたのでお知らせします。

概要等については以下のとおりです。

1 患者の概要

玉名市内在住の40歳代 男性

2 確認までの経過

平成22年1月14日 発熱（38.4度）、関節痛を呈し、医療機関（定点医療機関）を受診。リレンザを処方。検体採取。

1月25日 ウイルスサーベイランスの一環として熊本県保健環境科学研究所で検査した結果、新型インフルエンザ（A/H1N1）と確定。

3月8日 タミフル耐性株の検出等を目的として、国立感染症研究所から当該検体の送付依頼あり。

4月23日 国立感染症研究所から「タミフル耐性*1」、「リレンザ感受性*2」を確認したとの連絡あり。

*1 耐性：当該の薬剤に対し抵抗性をもち、効きにくくなること。

*2 感受性：当該の薬剤が有効に作用すること。

3 その他

- 厚生労働省によると、タミフル耐性インフルエンザウイルスの病原性については、通常のインフルエンザウイルスに比較して強いものは今のところ確認されていないとされています。
- 全国でタミフル耐性が確認されたのは、今回の事例で68例目です。（熊本県内では初）

（問い合わせ先）

健康危機管理課

担当者 松本、松尾

内線 7080、7081

ダイヤル 096-333-2255